

【野田村商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和3年度		実績	評価 令和3年度
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること	中小企業景況調査	15社	15社	岩手県商工会連合会が行っている景気動向調査を15社実施した。	A
	観光入込客数調査(月)	1回	1回	月々の入込客数を把握している1社へ照会して実施。	A
	土産品、宿泊施設の売上等調査(月)	1回	1回	取扱い店舗2社の売上状況の調査を実施。	A
	経済研究機関誌等の分析(月)	1回	1回	岩手経済研究や小規模企業白書などから情報を収集し、経済動向の実態把握に努めた。	A
	地元金融機関との情報交換(年)	2回	2回	地域内銀行と情報交換を行った。	A
2. 経営状況の分析に関すること	ヒアリングシート回収数	50社	40社	補助金等の申請支援や金融支援、税務支援の中からヒアリングを実施。	B
	経営状況分析に向けた巡回件数(年)	100件	159件	経営一般、金融、税務等の巡回により状況把握を実施。	A
	経営分析事業所数	40社	52社	決算、融資、補助金関係事業所。	A
3. 事業計画策定支援に関すること	事業計画策定支援件数	30件	27件	補助金5件、事業計画セミナー7件、金融5件、事業承継計画10件の支援。	B
	事業計画策定セミナー受講者数	10件	10件	商工会で1回実施、参加者10名。	A
	持続化補助金支援事業者数	10社	4社	持続化補助金申請支援4件。	C
	経営革新計画支援事業者数	1件	2件	2社の支援を行い、1社が認証となった。	A
	小規模事業者経営発達支援融資制度	1件	0件	案件はなかったが、マル経融資の実績5件	D
	創業支援相談件数	2件	2件	2件の相談があり、1件は4月に創業、もう1件が引き続き継続支援を行っている。	A
	事業承継支援相談件数	2件	5件	5件の事業承継について見通しをヒアリング。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	事業計画フォローアップ延べ件数	120件	59件	補助金採択者と融資実行者及び記帳代行、決算指導者に対して、フォローアップを行った。	C
	集団・個別相談会受講者数	10名	10名	講習会参加者に対し、事業計画策定後の支援を行った。	A
	マル経あっせん件数	5件	5件	マル経斡旋件数5件。	A
5. 需要動向調査に関すること	物産展でのヒアリング調査(事業者数、アイテム数)	3社 7商品	3社 7商品	物産展で3社7商品についてアンケート調査を行った。	A
	イベントでのテストマーケティング	16商品	5商品	野田村プチよ市等での季節ごとの創作料理等を提供した。	C
	分析情報提供事業者数	7社	7社	物産展3社及びプチよ市出展者に対して分析情報提供を行った。	A
	ホームページ等による情報提供(年)	2回	2回	プチよ市等の開催案内の周知を行い、支援対象事業所に情報提供を行った。	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	野田村ブランド商品認証数(累計)	20件	0件(延べ7件の認証)	認証商品の増加はなかった。	E
	コミュニティ施設活用イベント出店事業者数、売上目標額	24件 120万円	延べ70件 120万円	「野田村プチよ市」を4月~10月及び12月開催した。(新型コロナウイルスの影響により、7月、8月は未実施。)	A
	物産展・商談会の情報提供	2回	2回	該当事業所に対して実施。	A
	商談会参加企業数・成約数	2社 2件	1社 0件	岩手県商工会連合会主催によるWEB商談会に1社出席した。	C
	物産展参加企業数・目標売上額	3社 40万円	3社 190万円	物産展を2回開催し、参加企業数は3社。売上は190万円。	A

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	令和3年度		実績	評価 令和3年度
		目標	実績		
地域経済の活性化に資する取組	地域懇談会の開催	1回	1回	野田村新年興隆会を開催した。	A
	地域特産商品のブランド化	-	実施	野田村で随一産出されるマリンローズを活用した新商品開発を支援。	A
	観光ツアーの造成	1回	1回	野田村観光協会と連携して、観光ツアーについて協議を行った。	A
	地域観光情報の発信強化	-	実施	観光関連業者の情報を観光協会に提供し、情報発信に繋げた。	A
	「食」イベントでのテストマーケティング	-	実施	野田村プチよ市にて、出店事業者が新商品のテストマーケティングを実施した。	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	令和3年度		実績	評価 令和3年度
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	金融機関との情報交換会	2回+α	4回	地域内の金融機関と情報交換を行った。	A
	税理士との情報交換会	2回	2回	税理士会等の会議に出席し、情報交換を行った。	A
	専門家からの技術習得	-	3回	さんりくなりわい創出促進事業での個別指導2事業所。経営革新計画策定に向けた企業ヒアリング1事業所。	A
	小規模商工会連携会議	2回	2回	集合しての会議は未実施だが、電話等により情報交換相談等を行い連携している。	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	支援力向上のための研修受講	-	実施	岩手県商工会連合会が実施する研修会に積極的に参加した。また、OJTでの指導を受け、月1回の指導を受け事業計画策定支援等を行った。	A
	専門家からの技術習得	-	実施	専門家派遣事業を複数回活用し、そのノウハウ吸収に努めた。	A
	支援スタッフの技術向上	-	実施	岩手県商工会連合会の実施する経営支援スタッフ研修会等に参加し、技術向上に努めた。	A
	小規模商工会連携会議	2回	2回	集合しての会議は未実施だが、電話等により情報交換相談等を行い連携している。	A
	職員会議	12回	12回	定期的に企業支援に関する情報交換を実施した。	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	経営発達支援事業評価委員会	1回	1回	令和2年8月に実施。	A
	事務局会議	4回	4回	事務局による進捗状況の確認及び打合せは四半期に1回行った。	A
	正副会長会議	4回	4回	正副会長会議にて、事業進捗について報告・協議した。	A
	理事会	2回	2回	理事会において、事業進捗について報告・協議した。	A
	評価結果の公表	1回	1回	ホームページにて評価の公表を行った。	A